

鉄道ピクトリアル

1970年10月臨時増刊号 Vol. 20 No. 10

<特集 京浜急行電鉄>

- 表紙 「下り快特 600 系」……………編集部 撮影
- カラー頁 「京急と都営の出会い」……………編集部 撮影

■グラフ

- 沿線にひろう [1]……………天野 洋一…39
- 沿線にひろう [2]……………天野 洋一…40
- 主要工事・施設……………京浜急行・編集部…42
- グラフで見る京浜急行のあゆみ [1]…高松吉太郎・小粥敏弘・川喜田泉・柴田重利・荻原二郎・柴橋達夫・山上泰生・吉川文夫・京浜急行…44
- グラフで見る京浜急行のあゆみ [2]……………吉川文夫・川喜田泉・池田明…46
- ターミナル品川 (2 頁大) (解説94頁)……………天野 洋一…48
- 京急 車両の変遷 [1]…高松吉太郎・久保田正一・柴橋達夫・荻原二郎・川喜田泉…50
- 京急 車両の変遷 [2]…久保田正一・中川浩一・荻原二郎・柴橋達夫・川喜田泉・小粥敏弘・吉川文夫…52
- 京急 車両の変遷 [3]…柴田重利・吉川文夫・堀江光雄・曾根 悟・川喜田泉・長谷川弘和…54
- 京急 車両の変遷 [4]…川喜田泉・下藤直之・堀江光雄・天野洋一・吉川文夫…56
- 京急 車両の変遷 [5]…吉川文夫・柴田重利・長谷川弘和・堀江光雄・川喜田泉…58

■本文

- 今月の話題・都市間電車の草分け京浜急行電鉄……………編集部…3
- 京浜急行電鉄総説……………京浜急行電鉄…4
- 京浜急行電鉄案内図……………12
- 京浜急行電鉄の系譜……………中川 浩一…13
- 京浜急行電鉄路線の変遷……………日野原 保…18
- 京浜急行電鉄の保安施設……………丸山 信昭…24
- 京浜急行電鉄車両概況……………小池洋太郎…27
- 京急久里浜工場の概要……………小松原菊治…32
- 京浜電鉄 51 形を偲ぶ……………日野原 保…59
- 京浜電車思い出すまま……………高松吉太郎…61
- 他社ではたらく京浜急行電鉄の車両……………吉川 文夫…62
- 記憶の中の京浜電車……………白土 貞夫…66
- 私鉄車両めぐり [85] 京浜急行電鉄……………吉川文夫・永田義美・川喜田泉…68
- 新年早々京浜沿線漫遊記……………小山 憲三…89
- 質問に答える・大正中期の京浜沿線……………90
- T T K だより・後部車から……………94



都市間電車の草分け 京浜急行電鉄

戦後の私鉄電気鉄道界は、経済の民主化という大方針によって、戦時に強制的に統合された会社のうち、近畿日本から南海が、東京急行から京浜・小田急・京王が、また京阪神急行から京阪が、昭和22~24年の2年間にそれぞれ独立して、ここに現在の大私鉄14社が成立(和久田康雄、「資料・日本の私鉄」)、自来21年間、この体制は変わらない。

京浜急行電鉄も、この渦中において昭和23年、東京急行電鉄から「譲渡」の形で独立、今日盛業の基盤となったものであるが、同社の生い立ちに遡ってみると、明治37年、大師電気鉄道を改軌発展して品川一神奈川間を全通、明治38年、わが国最初の「都市間電車」として開業した阪神電気鉄道とともに、東西呼応して官鉄東海道本線に競争を挑むという日本私鉄史上特筆すべき華麗なスタートを切っている点に、他社にみられない特色を見出すことができる。(別掲「競争史考」参照)

さらに、同社の前身、大師電気鉄道は明治32年、わずか2キロの区間とはいえ、関東地区における最初の電気鉄道として発足したという栄ある伝統あるうえ、その後京浜間の交通機関をめざす京浜電気鉄道への転進、湘南電鉄の吸収、東京急行電鉄を経て京浜急行電鉄として再発足するなど、幾多の波瀾を重ねて、現在の営業キロ81.6km、資本金90億円の、日本における第7位の私鉄として存在を誇っている。

本誌が、創刊以来の前例を破って、私鉄一社の臨時増刊号を発行するゆえんもここにある。

TETSUDOTOSHO KANKOKAI
New Kokusai Bldg, Marunouchi
3-4-1, Chiyodaku, Tokyo/Japan

[表紙]「下り快特 600 系」
600系 富岡付近 編集部 撮影
三浦海岸行 '70.9.10
マミヤ C220 セコール 80mm
絞り 5.6 タイム 1/250 エクタクローム

[カラー頁]「京急と都営の出会い」
京急400系と都営5000形 編集部 撮影
鮫洲 '70.9.10
マミヤ C220 セコール 80mm
絞り 8 タイム 1/125 エクタクローム